



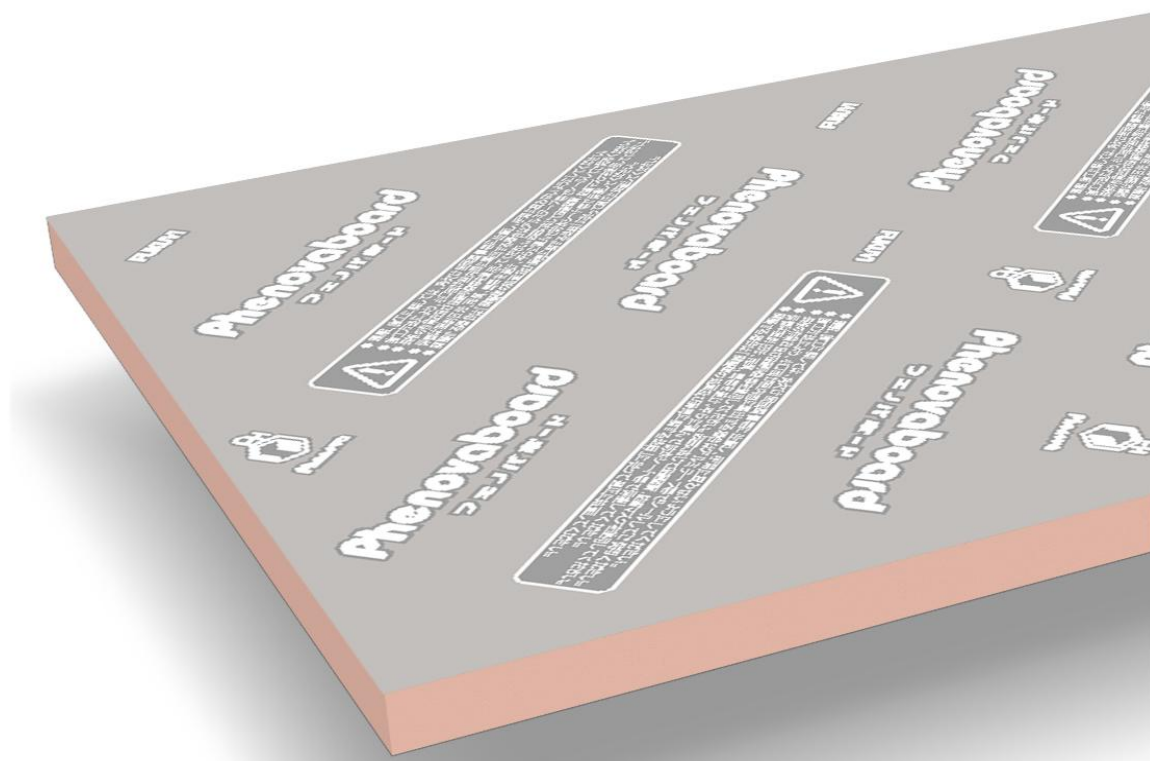
✓ Third party verified
Environmental Product Declaration

In conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



フクビ化学工業株式会社
Fukuvi Chemical Industry Company, Limited

フェノバボード (40~90mm) Phenovaboard



| 登録番号 | 検証合格日 | 公開日 | 検証有効期間 | EPDタイプ |
|----------------------|--|-----------|-----------|-----------|
| SuMPO-EPD-2605-140-1 | 2026/5/25 | 2026/6/19 | 2031/5/24 | グループ製品EPD |
| 追加の準拠規格 | EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。 EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。 https://ecoleaf-label.jp/epd/search | | | |
| ISO21930:2017 | | | | |

※更新された場合は初版公開日

Environmental Product Declaration for **Phenovaboard**

●基本情報

>プログラム情報

| | |
|-------------|---|
| プログラム名称 | SuMPO環境ラベルプログラム |
| プログラムオペレーター | 一般社団法人サステナブル経営推進機構 |
| 所在地 | 東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F |
| ウェブサイト | https://ecoleaf-label.jp |

>GPI・PCR情報

| | |
|----------------|--|
| GPI | SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1 |
| PCR名称 | 建築用断熱材 |
| PCR登録番号 | SuMPO-PCR-01001-1-0-0 |
| PCR認定日 | 2025/9/30 |
| レビューパネル委員長（所属） | 小林 謙介（県立広島大学） |
| PCR有効期限 | 2030/9/29 |
| PCR発行者 | 一般社団法人サステナブル経営推進機構 |

>検証情報

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 検証の種類 | ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証 | | |
| | <input type="checkbox"/> 内部 | <input checked="" type="checkbox"/> 外部 | |
| 検証実施者（所属） | <input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証 | <input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証 | <input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証 |
| | 阿藤崇浩（特定非営利活動法人資源リサイクルシステムセンター） | | |

>準拠規格

| | | | |
|------|---|---|---|
| 準拠規格 | <input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006 | <input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006 | <input checked="" type="checkbox"/> ISO14067:2018 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006 | <input type="checkbox"/> ISO21930:2007 | <input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2017 |
| | <input type="checkbox"/> EN15804+A2 | <input type="checkbox"/> EN50693:2019 | <input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025 |

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDの比較可能性は、機能単位を適用しているものに限定されます。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

| | |
|--------------|---|
| 事業者名・部署名 | フクビ化学工業株式会社 建材事業本部 建材開発部 |
| 住所 | 東京都品川区大井1丁目23-3 |
| 問い合わせ先 | 0800-919-2911（お客様相談センター） |
| LCA算定実施者（所属） | フクビ化学工業株式会社 建材開発部 鈴木沙弥 |
| 事業者概要 | 事業内容：建築資材の製造・販売、住宅用内装材・外装装飾部材、集合住宅用床システムなど、樹脂製産業資材の製造・販売、精密化工製品製造・販売、反射防止などの機能性精密樹脂製品など |

Environmental Product Declaration for **Phenovaboard**

●製品情報

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| 製品名称 | フェノバボード (40～90mm) | | |
| 製品の型式 | JJ40N・JJ45N・JJ50N・JJ60N・JJ63N・JJ80N・JJ90N | | |
| 製品仕様 | 製品機能 | 建築物の断熱 | |
| | 製品質量 | 0.69kg | 換算係数 0.69kg/m ² /(m ² ・K/W) |
| | 製品の用途 | 建築物の壁、天井、床などに施工する断熱材 | |
| | 技術性能 | JIS A 9521 建築用断熱材フェノールフォーム断熱材 1種2号 DI (JIS A 9511 フェノールフォーム保温板 1種2号 D) | |
| 耐用年数 | 年数 | 22年 | |
| | 使用条件 | 木造・合成樹脂造の店舗・住宅用途 | |
| | 年数を設定した根拠 | 木造住宅の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典：国税庁，“主な減価償却資産の耐用年数表”＜2022年＞ | |
| 製造サイト（製造拠点） | フクビ岡山株式会社（岡山県岡山市） | | |
| 製品概要 | 熱的にも化学的にも安定したフェノール樹脂を発泡させた気泡にノンフロンガスを密閉した、性能の経年変化が少ない発泡プラスチック系断熱材 | | |
| 製品ウェブサイト | https://www.fukuvi.co.jp/product/3/01/1078 | | |

●材料及び物質に関する構成要素

| 製品構成要素 | 割合 (%) | 質量 | |
|---------|--------|-------|----|
| フェノール樹脂 | 64.0 | 0.440 | kg |
| 添加剤 | 26.0 | 0.180 | kg |
| 面材 | 10.0 | 0.070 | kg |
| 包装材構成要素 | 割合 (%) | 質量 | |
| フィルム | 92.0 | 0.001 | kg |
| 紙 | 8.00 | 0.000 | kg |

●生物由来炭素含有量

| 項目 | 含有量 (kg-C) | 含有量 (kg-CO ₂ eq) |
|-----------------------|------------|-----------------------------|
| 製品あたりの生物由来炭素含有量 | － | － |
| 提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量 | － | － |

Environmental Product Declaration for Phenovaboard

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

| | | | | |
|---|--------|---|--|---|
| EPDタイプ | 製品タイプ | <input type="checkbox"/> 単一製品 | <input checked="" type="checkbox"/> グループ製品 | <input type="checkbox"/> 業界製品 |
| | サイトタイプ | <input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト | | <input type="checkbox"/> 複数サイト |
| | 開示方法 | <input type="checkbox"/> 特定値 | <input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値 | <input type="checkbox"/> 代表値 <input type="checkbox"/> 上限値 |
| 地理的範囲 | | グローバル | | |
| 複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明 | | 各製品の年間生産量による加重平均値を用いて算定している。 | | |
| 複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果の 上下幅に関する説明 | | 厚みの異なる7つの製品を対象としているが、各製品の材料構成は同等であり、算定結果も±10%以内に収まることを確認した。 | | |
| 複数製品EPDの説明 | | JJ40N・JJ45N・JJ50N・JJ60N・JJ63N・JJ80N・JJ90Nはそれぞれ厚みが40mm、45mm、50mm、60mm、63mm、80mm、90mmと異なる。それに伴い、熱抵抗値も2.1㎡・K/W、2.3㎡・K/W、2.6㎡・K/W、3.1㎡・K/W、3.3㎡・K/W、4.2㎡・K/W、4.7㎡・K/Wとなる。 | | |

> LCA関連情報

| | | | |
|-------------------------------|--|--|--|
| 宣言単位 | 1㎡および平均温度23℃における熱抵抗値1㎡・K/Wあたり | | |
| 宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数) | 0.69kg/㎡/(㎡・K/W) | | |
| 基準フロー (機能単位を満たすため に必要な製品数) | - | | |
| システム境界 | <input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate | <input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options | <input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave |
| LCAソフトウェア | MiLCA ver.1.1.3.1 | | |
| LCIデータベース | AIST-IDEAv3.4 | | |
| 特性化モデル | 気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2 | | |
| その他のバックグラウンドデータ | - | | |
| 二次データ品質 | GPIIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。 | | |
| 一次データ収集拠点 | フクビ岡山株式会社 (岡山県岡山市) | | |
| 一次データ収集期間 | 2024年4月1日～2025年3月31日 | | |
| 生物由来炭素の取り扱い | <input type="checkbox"/> 0/0アプローチ | <input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ | |
| 電力契約に 関する情報 | 使用有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス | <input type="checkbox"/> その他 |
| | 種類 | - | |
| | 購入日 | - | |
| | 発行元 | - | |

> 算定対象段階

| 資材製造段階 | | | 施工段階 | | 使用段階 | | | | | | | 解体段階 | | | | 境界外 |
|--------|--------|----|--------|----|------|------|----|----|----|---------|-----|-------|--------|------|--------|-----------|
| | | | | | 資材関連 | | | | | 光熱水関連 | | | | | | |
| A1 | A2 | A3 | A4 | A5 | B1 | B2 | B3 | B4 | B5 | B6 | B7 | C1 | C2 | C3 | C4 | D |
| 原材料の調達 | 工場への輸送 | 製造 | 現場への輸送 | 施工 | 使用 | 維持保全 | 修繕 | 更新 | 改修 | エネルギー消費 | 水使用 | 解体・撤去 | 廃棄物の輸送 | 中間処理 | 廃棄物の処理 | 潜在的な負荷と便益 |
| ■ | ■ | ■ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

■ : 算定対象 - : 算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。製造プロセスにおいては同工場で製造される他の複数製品が共製品として排出される。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるため、エネルギー量データを同ラインまたは同工場で生産される製品の生産数による物理量で配分を行った。また、製造過程で発生する断熱材スクラップの一部はリサイクル材料として扱われるため、製品システム内では粉碎までを計上した。

> カットオフ

PCRで記載されたカットオフ対象以外に、カットオフした主要プロセスはない。

なお、「製品あたりの生物由来炭素含有量」については、「気候変動 - 生物由来」の値が「気候変動 - 合計」の5%未満であるためカットオフを行っている。

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。時間的システム境界は100年である。また、PCRで記載されたシステム境界外プロセスについても算定対象外とした。

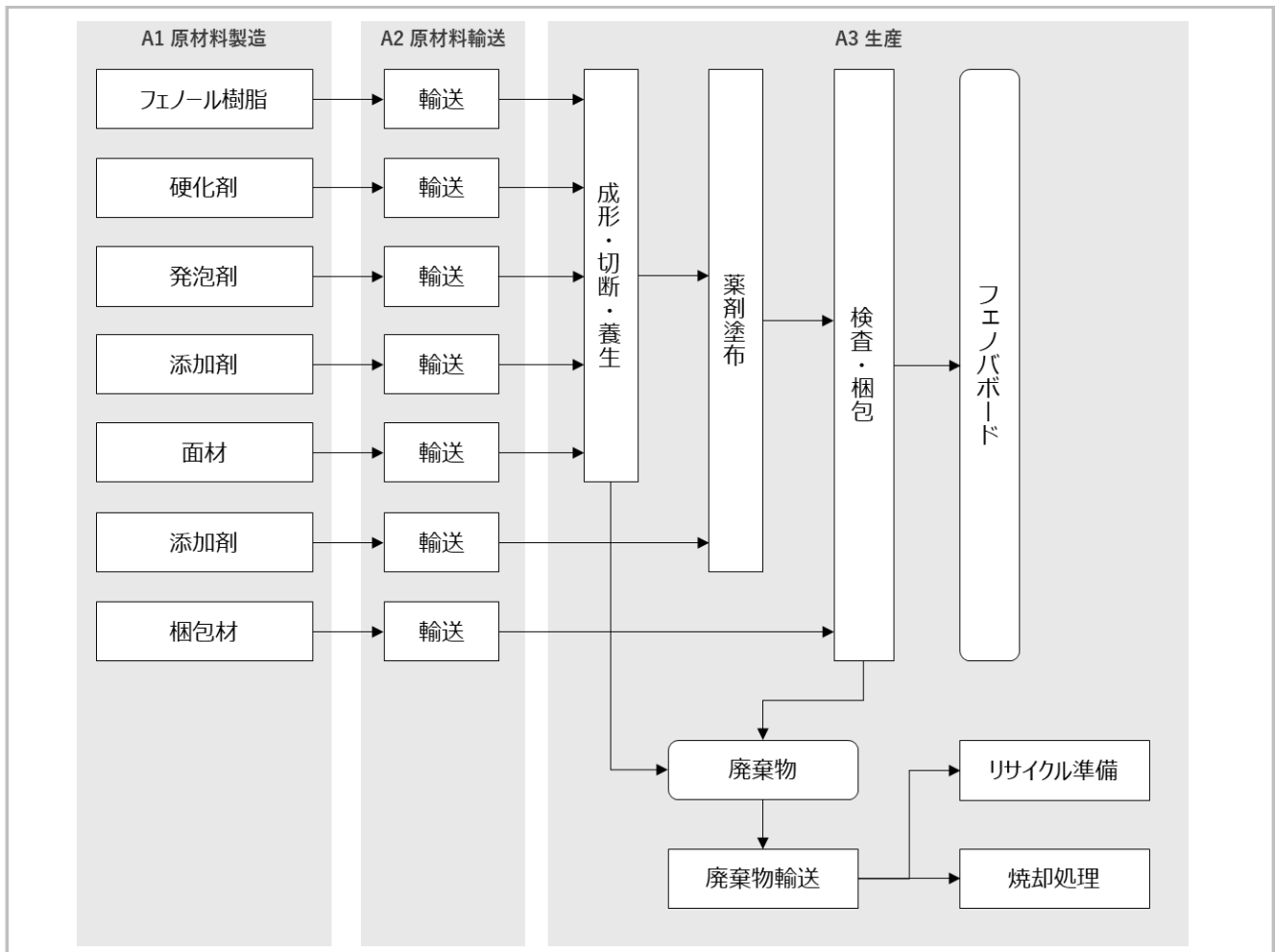
> シナリオ

| モジュール | 説明 |
|-------|---------------------|
| A2 | 輸送手段はPCRのシナリオを使用した。 |
| A3 | 輸送手段はPCRのシナリオを使用した。 |
| | |
| | |

> 電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2021年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



Environmental Product Declaration for **Phenovaboard**

> LCA算定結果に関する説明

各段階における輸送シナリオはPCR Annex.C 輸送シナリオ（規定）より引用しており、製造段階（A3）のエネルギー使用量は、工場全体の総使用量を該当製品の生産量で配分（物理的アロケーション）して算出している。
 また、製造サイトの活動量は一次データを収集したが、それに乗じるLCIデータには一般的な二次データを使用している。
 これらのプロセスにおいては、実態とは乖離がある可能性があり、結果は概算値となる。
 製造段階（A3）において発生する端材の一部はマテリアルリサイクルを行っており、本算定ではその粉碎までを範囲としている。

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

-

> 有害物質に関する情報

| 有害物質名 | CAS No. | 適用される基準または規制の参照 |
|-------|---------|-----------------|
| なし | - | - |
| | | |
| | | |

建材および建設製品からの危険物質の放出

なし

●用語の定義

-

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
- ・ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification
- ・資源エネルギー庁. エネルギー源別標準発熱量・炭素排出係数一覧表（2025年3月改訂版）

●改訂履歴

-